

変化と向き合う学校図書館

～子どもと社会をつなぐための挑戦

学校図書館問題研究会は、全国の学校図書館に関わる職員や関心のある人たちによる研究団体として1985年に発足し、毎年全国大会を開催しています。ここ2年はオンライン開催でしたが、今年は久しぶりに対面を中心とした大会とします。オンライン開催には、費用や時間など参加しやすい面もあるでしょう。しかし、対面でしか得られないものがあるという信念のもと、関西4支部合同で準備に取り組んでいます。

今年は学校図書館法制定から70年の節目の年です。ここ数年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しています。その一方で変わらないもの、変えてはいけないものもあり、それぞれにどう向き合っていくのかが問われています。この大会が、私たちの「子どもと社会をつなぐための挑戦」の糧となるよう、熱く、深い議論を交わしましょう。

日程：2023年8月5日(土)～7日(月)

大会サイト： <https://gakutoken.sakura.ne.jp/2023kansai/>

大会サイトの
QRコード



会場：大阪私学会館 (<http://www.osaka-shigaku.gr.jp/kaikan/>)

〒534-0026 大阪府大阪市都島区網島町6-20 TEL:06-6352-3751 FAX:06-6352-3753

主催：学校図書館問題研究会 (<http://gakutoken.net/>)

後援：大阪府教育委員会 大阪市教育委員会

プログラム

	8/5 (土)	8/6 (日)	8/7 (月)
12:30	受付		
13:30	開会行事・総会		
14:30	講演		
16:30			
8:45		受付	
9:10		実践報告 I・II	
12:10		昼休憩	
13:40		分科会	
16:40			
8:45		受付	
9:00		総会・閉会行事	
11:50			

大会キャラクター
ぽっけ



講演 8月5日(土) 14:30-16:30

定員200名

対面 ライブ配信 アーカイブ

「学校図書館は何のためにあるのか」を考える

うちだ たつる

凱風館館長・神戸女学院大学名誉教授 **内田 樹 氏**

「探究」の拡がりから学校図書館の役割が改めて注目されています。しかしまだまだ全国的に浸透しているとはいえません。「司書の仕事は近い将来AIにとって代わられる可能性のある職業」と考えている人たちさえもいます。そこで基本に立ち返り、そもそも「教育とは何か」「図書館とは何か」について内田樹さんにお話いただきます。内田さんは『転換期を生きるきみたちへ』（晶文社 2016年）のまえがきで、学校には多様な空間があることの必要性を述べられています。学校図書館はまさに多様な場です。学校の中に図書館がある意味について、改めて考える機会にしましょう。

お申し込み期間：全日程対面参加 2023年5月 9日(火)～6月30日(金)
オンライン視聴・1日参加 2023年5月30日(火)～6月30日(金)

*参加費・申込方法などの詳細は4ページ参照

報告Ⅰ 教員として、司書教諭として 学校図書館を考える

対面 ライブ配信 アーカイブ

福島県富岡町立富岡小学校 教諭・司書教諭 小熊 真奈美 さん

福島県のごく普通の公立小学校の教員として勤務する傍ら、司書教諭として学校図書館の運営に関わってきました。司書教諭とはいえ時数軽減もなく他の学級の指導もしていない状態ですが、「子どもに本の面白さを伝えたい」「情報を扱える子どもになってほしい」と思い、学図研などで学んだことをコツコツと実践してきました。都市部の中規模校や東日本大震災の被災地の小規模校など、さまざまな環境のもとで教員・司書教諭として実践してきたことを振り返ってお話します。また、現在の勤務校でどのように学校司書と協働しているかについても述べたいと思います。

報告Ⅱ 学校図書館をブツ壊しながら見えてきたこと

対面 ライブ配信 アーカイブ

神奈川県立平塚農商高等学校 学校司書 木伏 正至 さん

1988年の初任校から、常に学校図書館をスクラップ&ビルドしてきた学校司書キブシは、学校司書人生最後のミッションとして学校図書館の移設という難題を突きつけられました！

前任校までの実践のどこを活かして、今回のミッションをクリアしようとしたかを報告します。

予約制度から始まり、廃棄、雰囲気づくり、レイアウトの見直し、ブランディング、再編統合、地域との連携、SNSの利用など、そのキーワードは多岐にわたりますが、よく学図研ニュースに出てくるテーマばかりです。これから実践を行なっていく人のちょっとしたヒントになればいいなと思います。

関西大会の開催にあたって

- 申し込み時の個人情報、『がくと』の編集も含め、大会に関することに使用することをご承知ください。
- 総会是对面参加の全国会員をもって成立とします(オンラインは視聴のみです。議決権はありません)。
- 対面参加の方へもオンラインのURLを送ります。不測の事態が生じた場合は、そちらからご参加ください。
- キャンセル料・参加形態の変更については、大会サイトをご覧ください。
- 2日目の昼食は、できるだけ会場の外でお取りください。そのために昼休憩の時間を長く設定しています。お弁当のゴミは、お持ち帰りください。
- オンライン視聴には、Web会議システム「Zoom」を使います。それぞれのミーティング ID・パスコードは各担当から、別途、3日前までにご登録のメールアドレスにお送りいたします。時間になりましたら、各自でアクセスしてください。マイクは司会・進行担当者から指示がない限り、ミュートでご参加ください。
- 複数人で一つのデバイスから参加される場合も、お一人ずつ参加の申し込みをお願いします。**
- 総会、講演会、実践報告、分科会等の資料はクラウド上のフォルダにアップします。フォルダにアクセスするためのアドレス(QRコード)は大会事務局よりご登録のメールアドレスに大会3日前までにお送りします。不達の場合は、迷惑メールフォルダをご確認のうえ、大会事務局(gakutoken2023@gmail.com)までご連絡ください。**各自でアクセスして、必要に応じて資料をダウンロードしてください(会場にはフリーWi-Fi環境はありません)**。申し込みをしていない分科会の資料もダウンロードできます。8月31日までアクセスできます。
- 分科会の終了時間は16:40を予定していますが、分科会によって異なります。
- 会場の規定により、資料販売は行えません。
- *定員のあるものは先着順で締め切ります。早めの申し込みをお願いします。**



分科会 8月6日(日) 13:40-16:40(最大)

1

とことん考える!

対面のみ 定員45名

学校司書と教職員の協働

実践報告Ⅰを受けた分科会です。学校司書と教職員の「協働」に関して、悩みごとはありませんか? この分科会では、学校図書館への支援が整っている鳥取県の事例を紹介し、そして、皆さんが抱える悩みを少しでも軽くする手立てを見つけるために、グループでとことん話し合ひましょう! うまく協働できた事例の持ち寄りも大歓迎です。

(担当: 福島・鳥取支部)

2

対面のみ 定員45名

魅力的な学校図書館をつくる

実践報告Ⅱを受けた分科会です。前半は木伏さんにレイアウトとブランディングの重要性を追加報告していただき、実践報告を含めた質疑応答を行います。後半はグループワークでレイアウト・ブランディングについての意見交換を行います。行ってみたい! また来たい! と思える図書館づくりの工夫を考えてみませんか? (事前課題あり)

(担当: 島根支部)

3

土居安子氏講演

対面 ライブ配信 アーカイブ

変化と向き合う子どもの本

時代とともに、子どもたちを取り巻く環境は変わっていきます。子どもの本も同様で、新たなジャンルやテーマのものが次から次へと出版されています。一方で、子どもたちに愛され、読み継がれていく本も多くあります。子どもの本の変遷を、社会との関わりという視点から大阪国際児童文学振興財団の土居安子さんと一緒にたどっていきましょう!

(担当: 滋賀・京都・大阪・兵庫支部)

4

対面のみ 定員20名

学校図書館と絵本

学校図書館資料としての「絵本」について研究する分科会です。授業等での絵本の具体的な活用事例について、絵本専門士の学校司書2名がそれぞれの絵本の特徴・違いを踏まえて紹介します。グループワークではそれぞれの学校にあった絵本の蔵書について一緒に考えましょう。(小中学校司書対象の分科会です)

(担当: 神奈川支部)

5

対面のみ 定員45名

パワーアップ! 学校図書館「PR」

「PR」とは、Public Relationsの略。まわりの人々よりよい関係を築くための活動といった意味です。教育や学びのかたちが変わっていく中、学校図書館でも双方向性を意識したPRを考える必要があります。ワクワクするような図書館の活動を発信している司書のレポートを参考に、学校図書館からどのように繋がることができるか、一緒に進めていきましょう。

(担当: 岡山支部)

6

対面 ライブ配信(講演のみ) 定員45名

学校図書館と著作権

学校図書館は著作権に深く関わる場面が多いのではないのでしょうか。分科会では、前半に原口直氏(東京学芸大こども未来研究所)にオンラインで模擬授業をしていただき、著作権の基本について理解を深めます。後半のグループワークは著作権の伝え方がテーマです。著作権を、教員や子どもたちに自分事として捉えてもらうためのアイデアを考えましょう。

(担当: 東京支部)

7

オンライン開催 学校と電子図書館サービス~どのように活用できるか

オンラインのみ アーカイブ

電子図書館の導入が増えています。この分科会は、市町村と県が協働で導入した長野県、青少年向けサービスを行っている広島県、学校独自で導入している高校の話聞き、児童生徒が電子図書館をどう使っているか、今後、個人の読書だけでなく授業においても、どのように活用できるのか、そのために何が必要かなどを話し合います。 **※大阪私学会館にはこの分科会の会場はありません。**

(担当: 長野支部)

アーカイブ配信について

アーカイブ のマークがある講演・実践報告・分科会は、後日、大会参加申込者のみ期間限定で動画配信も行います。質疑や討議などの配信は行いません。大会終了後にURLをご登録のメールアドレスにお知らせします。



お申し込み期間： 全日程対面参加 2023年5月9日（火）～6月30日（金）
 オンライン視聴・1日参加 2023年5月30日（火）～6月30日（金）

6月30日（金）までにインターネット（スマートフォンも可）でお申し込みください。

申し込み直後に確認メールが届かなければ、お問い合わせください。

お申し込み後、1週間以内に参加費をお支払いください。お支払いが無い場合は、キャンセルとなります。

お申し込み先

下記アドレス（右記QRコード）より、申し込みサイトにアクセスしてください。

<https://amarys-jtb.jp/gakutoken/>

受付担当者：株式会社JTBビジネストラנסフォーム 西日本ビジネスサポートチーム

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2-9-8 シマノ住友生命ビル3階

TEL:06-6120-1212

E-mail: 2023kansai@jbx.jtb.jp

受付時間：平日10:00～17:00（土日祝日を除く）



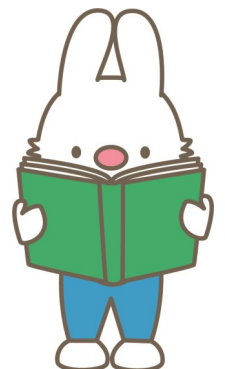
①参加費	会員（対面参加）	全日程	5500円	*会員：大会報告集『がくと』は年会費に含まれています。 *支部のみ会員、非会員、学生の方で、大会報告集『がくと』をご希望の場合は、別途申し込んでください。 *オンライン視聴の方は、「ライブ配信」と「オンラインのみ」を視聴できます。
		1日参加	3500円	
	非会員（対面参加）	全日程	6000円	
		1日参加	3500円	
	オンライン視聴（会員・非会員とも）	全日程	4500円	
		1日参加	2500円	
学生（対面参加・オンライン視聴とも）	全日程	2000円		
	1日参加	1500円		
		『がくと』（大会報告集・送料込）		1000円
②分科会	先着順に受け付けます。申込多数の場合は、ご希望に添えないことがあります。定員は対面参加の人数です。オンライン視聴には定員はありません。			
③変更・キャンセル	お支払い後の変更・キャンセルは、キャンセル料が発生します。大会サイトをご覧ください。			
④大会事務局	今野千束（灘中学校・灘高等学校図書館） E-mail: gakutoken2023@gmail.com			

***宿泊情報**（JTBによる斡旋です。各自で手配してくださいでも構いません。）

☆朝食なしプランもあります。詳細は申し込みサイトをご覧ください。

	大阪私学会館までのアクセス	8月5日	8月6日
		朝食付税込料金	
ホテル京阪天満橋	徒歩11分	11900円	9700円
相鉄フレッサイン大阪淀屋橋	電車+徒歩=25分	14200円	8200円
プレミアムホテル-CABIN-大阪	電車+徒歩=15分	13800円	12700円
ホテルモントレ ラ・スール大阪	徒歩11分	23000円	18600円
ヴィアイン大阪京橋<水城の湯>	徒歩10分	13000円	12000円
ホテルサンホワイト	徒歩20分	11000円	10000円

久しぶりに
みんなと
会いたいよ～



***大会公式Twitter** 学図研2023関西大会 @gakuto2023

大会の最新情報や話題を大会キャラクター「ぽっけ」がお知らせしています。

フォローをお願いします。

